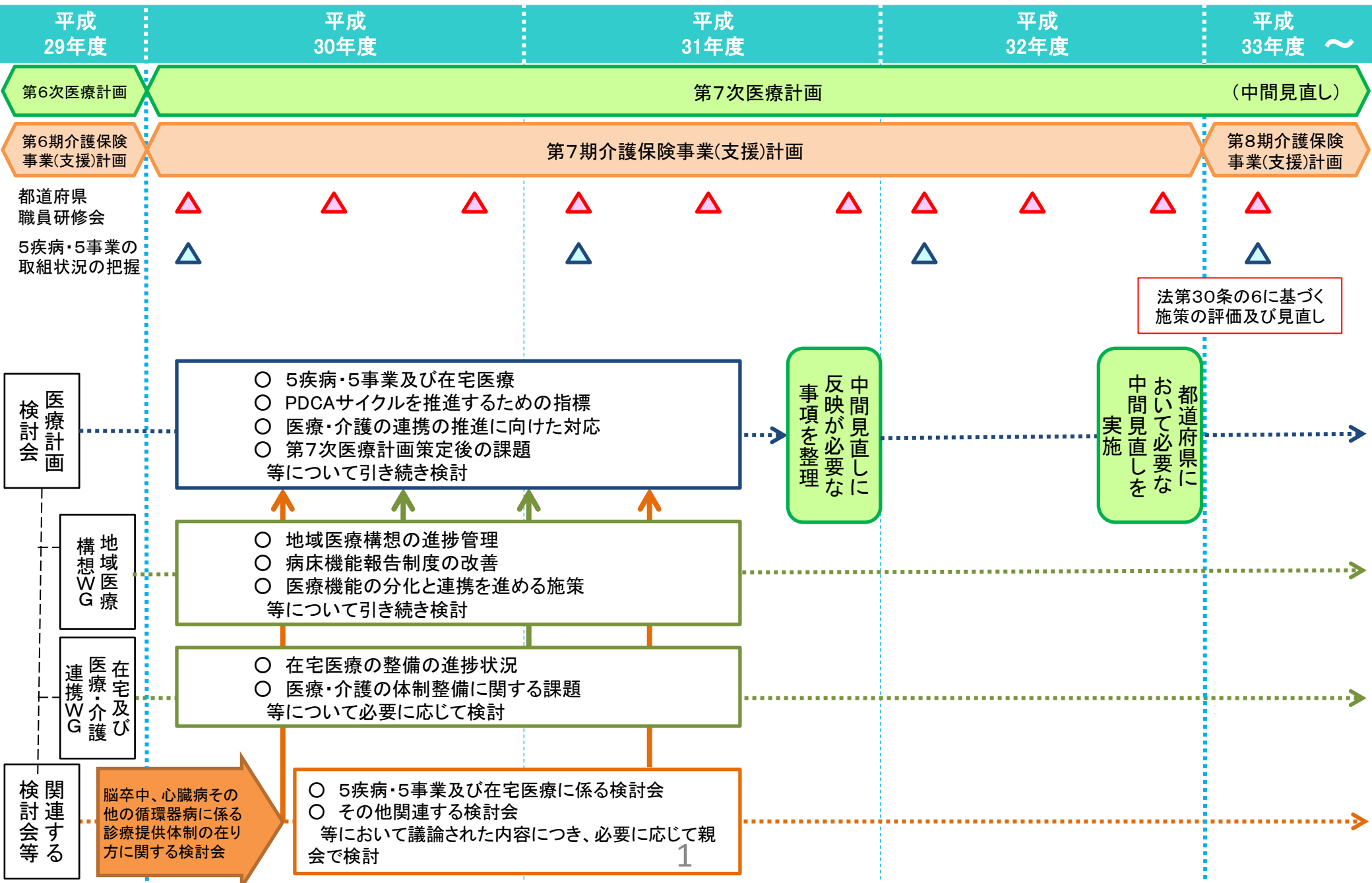


# 第7次医療計画に基づく 取組状況の把握について

# 今後の医療計画の見直し等に関する検討スケジュール(案)

第10回医療計画の見直し等に関する検討会  
平成29年3月8日 資料4を改変



# 5 疾病・5 事業の取組状況を把握する際に 都道府県に対し確認する事項について（案）

○ 都道府県が策定した第7次医療計画のうち、5疾病・5事業について、協議の体制や主な施策について共有し、取組状況を見ていくことが重要。このため、次の事項について、各都道府県に対して、定期的に確認することとしてはどうか。

## (1) 医療提供体制

医療圏の設定状況、中心的役割を担う医療機関等の場所及び施設数、かかりつけ医の役割等

## (2) 協議の体制

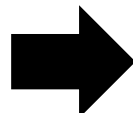
- ①協議の場：協議会、作業部会、圏域連携会議、検討会等の概要
- ②地域医療構想との関係：調整会議での議論の状況等

## (3) 主な施策

医療計画で設定された目標を実現するための施策

## (4) 目標項目

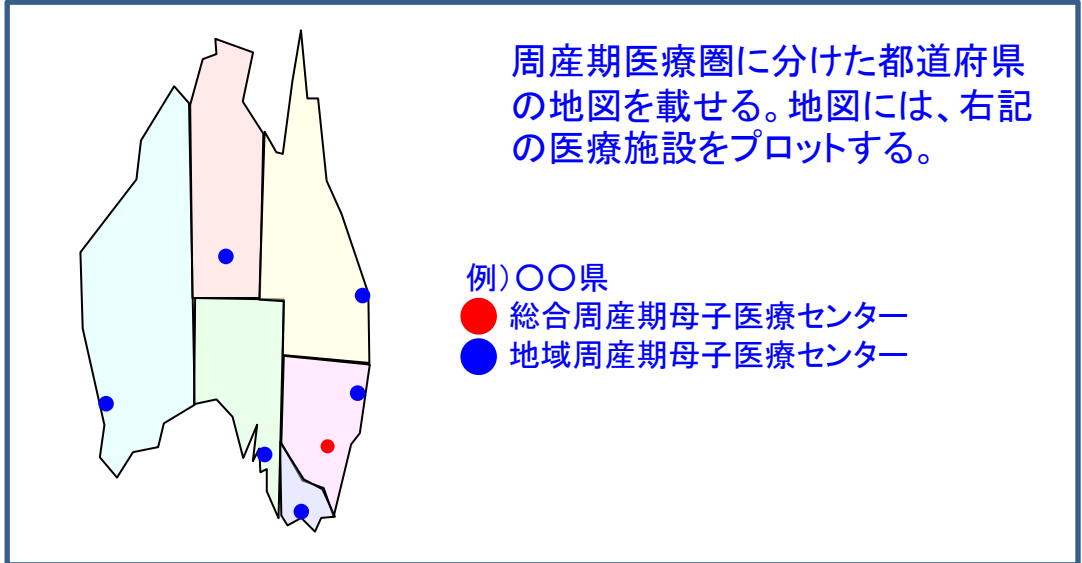
ストラクチャー、プロセス及びアウトカムの指標

 ホームページ等の掲載を通じて広く共有していく。

# 記載例 ○県の周産期医療に関する医療計画に基づく取組状況(イメージ)

青字: 解説と例示

## (1) 医療提供体制



周産期医療圏 (二次医療圏 ※)	総合周産期 母子医療 センター (施設数)	地域周産期 母子医療 センター (施設数)	分娩取扱 施設数 (施設数)
A (A、E、F)	1	1	10
B (B、G)	0	1	8
C (C)	0	1	7
D (D)	0	0	5
計	1	3	30

※周産期医療圏と二次医療圏が異なる場合には記載する。

## (2) 協議の体制

### ①協議の場

協議会、作業部会、圏域連携会議、検討会等について概要を記載する。

会議名称	参加者	主な議題	開催間隔
周産期医療協議会	総合周産期母子医療C、地域周産期母子医療C関係者、助産師	・周産期医療体制について	3か月に1回程度

### ②地域医療構想との関係

例) 地域医療構想調整会議において、E病院の地域周産期母子医療センターへの認定について決定した。

# 記載例 ○県の周産期医療に関する医療計画に基づく取組状況(イメージ)

青字: 解説と例示

## (3) 主な施策

施策名	予算額	内容
例) 周産期医療体制整備事業	30,000千円	・総合周産期母子医療C、地域周産期母子医療Cの整備を行う。

## (4) 目標項目及び評価期間

策定時に設定した目標項目(成果・指標の策定時の値及び目標値)及び評価期間を記載する。

### ストラクチャー

目標項目	策定時	目標値	評価期間
指標A 例) 地域周産期母子医療センター数	3	4	1年に1回
指標B			
...			

### プロセス

目標項目	策定時	目標値	評価期間
指標A 例) 母体搬送数のうち、受け入れ困難事例の件数	20	10	1年に1回
指標B 例) 上記のうち、県外搬送数	3	0	1年に1回
...	4		

### アウトカム

目標項目	策定時	目標値	評価期間
指標A 例) 周産期死亡率	3.9	3.6	1年に1回
指標B			
...			